



ご挨拶

前号では、氏神さまと氏子の関係や、神社で行われる主なお祭りについてご紹介しました。

第2号では、真名井神社をより身近に感じていただくために、御祭神、お参りの基本、真名井の水、境内の小さな発見についてお伝えします。

神社は、特別な日だけでなく、日々の暮らしの中で心を落ち着け、手を合わせる場所でもあります。どうぞお気軽に氏神さまへお参りください。



お祀りしている神さま

真名井神社では、伊弉諾尊（いざなぎのみこと）と天津彦根命（あまつひこねのみこと）をお祀りしています。

伊弉諾尊は、日本の国生み神話に登場する神さまとして知られています。天津彦根命は出雲国造の祖神 天穗日命（あまのほひのみこと）の弟神です。



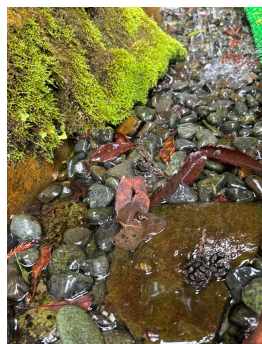
お参りの基本

- 鳥居をくぐる時には、軽く一礼します。
- 手水で手と心を清め、心静かに進みます。
- 参道は中央を避けて歩くことが、敬意の表れともいわれます。
- 拝礼の基本は二拝二拍手一拝です。



眞名井の水

眞名井の手水は、参拝の前に手や心を清める大切な水です。眞名井の滝から取水しており、古くから大切にされてきました。出雲国造家世継ぎ（火継式）がある時は、神火神水の神水は眞名井の滝の聖水を使用します。



手水の下小さな水たまりには、苔むした石の間にサワガニやタニシも息づいています。清らかな水に育まれる、小さな命の息吹です。



豆知識 Vol.2

イヌマキの実

石段を登り切った平場には、二本の大きなイヌマキがあります。向かって右が雄株、左が雌株です。



雌株には、10月ごろには、緑色と紫色の双子の人のような形の実ができます。境内の自然にも目を向けてみてください。

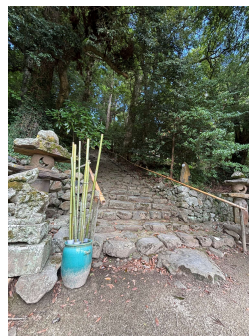


石段を上ることが難しい方へ

石段を上りきらなければ、お参りできないということではありません。無理をせず、鳥居の近くから御社の方へ向かって手を合わせることも、大切なお参りの形です。



昔、道路から神社の方を向き、手を合わせておられた氏子さんの姿もあったそうです。



転ばぬ先の杖もあります。



例祭（秋祭り）のお知らせ

10月17日（土）午後3時より、例祭を執り行います。

例祭は、眞名井神社の大切なお祭りです。氏神さまに日々の暮らしへの感謝をお伝えし、地域の安寧を願います。神魂、八重垣、六所の各神社の総代も参列します。



初めての方も、どうぞお気軽にお参りください。